

次期最終処分場基本計画策定委託について

1. 次期最終処分場基本計画について

昨年度の当審議会において、現在供用中である第 6 期最終処分場について、近年の埋立量を勘案すると、早期に埋立完了する可能性があることから、埋立地構造形式の検討、概算工事費の算定、事業手法の検討、及び整備スケジュールの検討等を踏まえた整備手法を早急に定めるべく、「次期最終処分場基本計画」を策定することを報告した。

2. 当該計画に基づく整備手法の比較について

令和 8 年 3 月末に策定された当該計画に基づき、「第 7 期最終処分場の整備」と「既存（第 4 期）最終処分場の嵩上げ」について、整備期間や概算事業費等を比較検討した。

項 目	既存(第 4 期)最終処分場嵩上げ	次期(第 7 期)最終処分場整備
整備期間	2 カ年(R11～R12)	3 カ年(R11～R13)
廃棄物埋立容量	115,100m ³	127,000m ³
埋立可能年数	12.3 年	15 年
概算事業費	15 億円※	37.8 億円

※遮水シート無しの場合 8 億円程度

3. 整備方針の決定について

「第 7 期最終処分場整備」と「既存（第 4 期）最終処分場の嵩上げ」を比較検討の結果、次の通りに決定した。

○整備方針:「既存（第 4 期）最終処分場の嵩上げ」を本格的に調査・検討開始

○選定理由:

- ・事業費の大幅な削減
- ・整備期間が 1 年短い
- ・第 6 期最終処分場埋立終了予定の令和 13 年に供用開始可能

○留意点:埋立可能年数は「第 7 期最終処分場整備」より短い

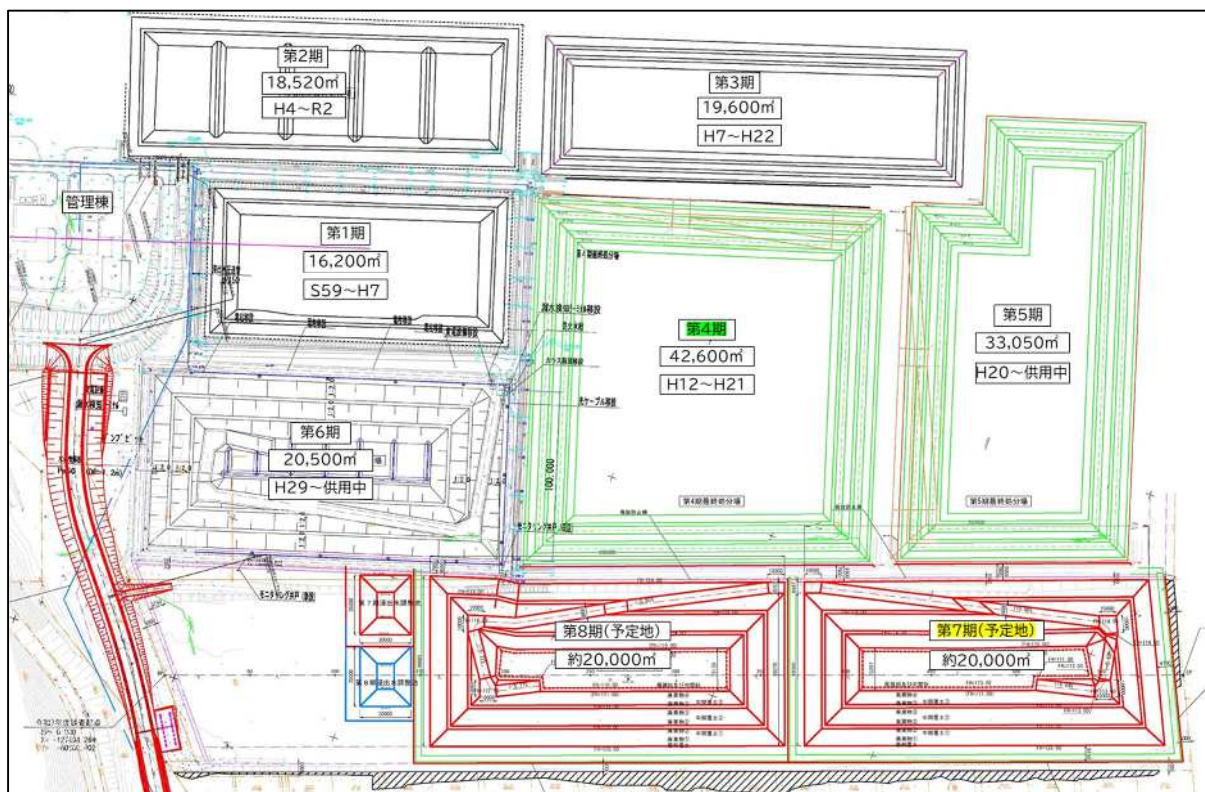
4. 今後のスケジュール(予定)

- ・令和 8 年 8 月 第 4 期最終処分場嵩上げ「予備設計委託業務契約」
- ・令和 10 年 第 4 期最終処分場嵩上げ「実施設計」
- ・令和 11 年～12 年 第 4 期最終処分場嵩上げ「工事」
- ・令和 13 年 第 4 期最終処分場嵩上げ「供用開始」

【参 考】

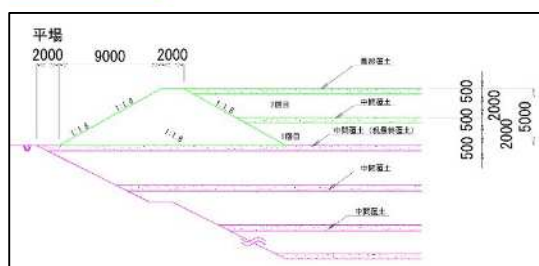
次期(第7期)最終処分場整備及び、既存(第4期)最終処分場嵩上げの平面図及び断面図

平面図



断面図

第4期嵩上げ



第7期整備

